



地域医療を支える市民病院

竹内滋泰（自民党市議団）

市民病院の安定経営について

問 令和元年度の決算について伺う。

答 経常収支は内部留保額として繰り入れた3億円を含め、約5億2百万円の黒字決算の見込みである。総務省の定める基準内繰入金金の範囲内での黒字決算は平成9年に移転開設以来、初となる。

問 再生医療の現状について伺う。

答 実施に向けて、現在はPR活動に力を入れている。対象疾患である白斑と皮膚培養の再生医療について、当院の皮膚科医師へのインタビュー記事をインターネット医療専門サイトで公開し、サイトを見た方より問い合わせもある。引き続き、特定認定再生医療等委員会による提供計画の審議と医療機関としての再生医療の提供の2つを行えるよう努力していく。

また、白斑以外にも保険収載されている膝軟骨の再生医療の実施も悲願であり、保険適用として施設基準を満たせるよう、膝関節手術件数を増やしているが、自由診療の適用も検討していきたいと考えている。

喚田孝博（自民党市議団）

コロナ禍の影響による学習対応について

問 学習の遅れが懸念されるが、授業時間数の確保等についての対応は。

答 夏休みの短縮や行事等の見直しにより授業時



開発許可制度の権限移譲について

間数の確保に努め、前期が終わったところで、授業進度を把握し、後期以降の対応に努める。土曜授業日や冬休みの短縮を行うことは想定していない。高校受験を控えた中学3年生や保護者には適宜、入試情報を伝える不安の解消に努める。

問 市は独自に開発行為の運用基準を定め、市民等が事業を進めやすい環境を整える必要があると考え、権限移譲を受け事務

処理市になる考えはあるか。課題が多々存在することから権限移譲を受ける考えはない。しかし、開発行為は立地適正化計画の施策の一つである低未利用地の活用促進に有用な手段であるため、開発行為につながる誘導施策を考える上で他市の先進事例を研究していきたい。

稲吉郭哲（自申クラブ）

市民病院におけるPET-CT導入について

問 より詳細ながん検査が期待できるPET-CT導入についての考えは。

答 市民の安心安全を守るためPET-CT導入の重要性は理解している。設置場所の確保や、県の地域医療構想をふまえた導入の在り方等の議論はあるが、経営状況をふまえ、市債や繰出金等の財政措置を含めて検討をしていく。

観光産業の振興と魅力発信について



東港地区における竹島ふ頭及び東港埋立地

問 東港まちづくりに対する考えを伺う。

答 東港地区における蒲郡駅周辺の市街地は、暮らしやすい環境を確保しながらまちの賑わいを取り戻していく。竹島ふ頭、東港埋立地、竹島水族館については、海辺を活かした一体感のある居心地の良いと思える空間を作っていく。竹島周辺は、歴史や文化を見つめ直すことでさらなる魅力向上を図っていく。

市民の皆様のご協力をいただきながら、また国県に働きかけながら推進していきたい。